

天気予報で

県政 / スポット

大雨になると分かったら…

最近「数十年に一度の大雨」といった言葉をよく聞くようになり、毎年のように各地で大きな被害が発生しています。平成以降の日本における台風被害で最悪の規模となった令和元年の東日本台風は10月に発生、東日本を中心に死者が100人を超えました。天気予報を見ていて、大雨になると分かったらどうすればよいか、確認しましょう。

今のうちに確認しよう!

ハザードマップ

自分が住んでいる地域の災害リスクや避難場所などを地図にまとめた「ハザードマップ」を市町村のホームページなどで確認しましょう。



基本の備蓄リスト

備蓄品のチェックをしましょう。

防災リュック

- 水、携帯食(乾パンや水をそいでつくるアルファ化米など)
- モバイルバッテリー
- 手袋、マスク
- ライト(懐中電灯など)
- 数日分の着替え
- お薬手帳(コピー)
- タオルやてぬい
- 手指消毒剤
- 健康保険証や免許証のうし
- ウェットティッシュ/おしりふき
- ビニール袋(大・小)/防臭袋
- ラジオ、電池
- 救急セット
- 携帯トイレ
- 保温アルミシート
- 新聞紙
- 歯ブラシ
- 常備薬
- 体温計
- ガムテープ/養生テープ
- メモ用紙/ペン(油性ペン)など

家のストック

- 水(飲料用、生活用)
- トイレトペーパー
- ゴミ袋
- 保存のきく食品(缶詰など)
- レトルト食品、乾物など
- ラップ、アルミホイル
- キッチンパサミ
- バケツ
- カセットコンロ、ボンベ など

他に必要なものを記入しましょう。

1 情報収集をしましょう

天気が崩れる前から、テレビやラジオ、インターネット、市町村の防災行政無線などで、正確な気象情報や災害情報を集めましょう。



お住まいの市町村から

高齢者等避難 が発令 → 避難に時間のかかる人は避難

避難指示 が発令 → 全員、避難

緊急安全確保 が発令 → すでに命が危険な状況

※避難指示の時点で必ず避難しましょう。

奈良県防災アプリ

最新の防災情報や近くの指定緊急避難場所、防災ハンドブックなどが確認できる「奈良県防災アプリ」をダウンロードしましょう。

ダウンロード
はこちら▶



2 早めに避難をしましょう

災害が発生するおそれが高まった場合は、早めに安全な場所に避難することが大切です。夜間の避難は大変危険ですので、暗くなる前に避難しましょう。



避難所などへの避難ができなかった場合

洪水のおそれ
があるとき

高台や建物の上層部に
避難しましょう

土砂災害のおそれ
があるとき

自宅の2階の山側から
離れた部屋などへ避難
しましょう

令和5年度、奈良県防災総合訓練をぜひ見に来てください!

消防・警察・自衛隊・医療機関などによる救助活動訓練や炊き出し訓練・さまざまな防災啓発展示などを行います。詳しくは下記HPへ。

時 10月22日(日)9時~12時 所 吉野運動公園(吉野町)

www.pref.nara.jp/1624.htm



県防災統括室 ☎0742-27-7006 FAX0742-23-9244